

株式と資産形成を「体験」から考える

教材：もしも証券 スクールモード（無料）

対象	高校1～3年（中学3年の公民でも可）。1クラス30人前後を想定
教科・時間	家庭基礎・家庭総合／公共／政治・経済／総合的な探究の時間 など
使う機能	タイムマシン授業（教師が過去の相場を1日ずつ進め、全員に同じ株価・ニュースを見せる）
端末	生徒1人1台（タブレット・PC・スマホ。ブラウザで動き、アプリのインストールやメール登録は不要）、教師用PC、プロジェクター

本時のねらい

知識・技能	株式のしくみと、株価が企業の業績やニュース、需要と供給によって変動することを理解する。株式・債券・投資信託などの金融商品にはリスクとリターンがあることを理解する。
思考・判断・表現	ニュースや企業の情報をもとに売買を判断し、その理由を言葉で記録する。結果と理由を照らし合わせ、判断の良し悪しを多面的に考察する。
主体的に学習に取り組む態度	自分の判断を振り返り、分散投資や長期の視点など、将来の資産形成に生かせる考え方を見いだそうとする。

学習指導要領との関連（目安）

家庭基礎・家庭総合	「持続可能な消費生活・環境」の「生活における経済の計画」。株式・債券・投資信託など基本的な金融商品の特徴（メリット・デメリット）、資産形成の視点
公共	経済に関わる事項のうち「金融の働き」（金融のしくみと、金融が経済の中で果たす役割）
政治・経済	「金融を通じた経済活動の活性化」に関わる考察
総合的な探究の時間	課題の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・表現（別紙「探究学習シート」）
中学 社会（公民）	「私たちと経済」の株式会社のしくみ、金融などのしくみや働き

※ 各学校の年間指導計画に合わせてお使いください。正確な文言は文部科学省「学習指導要領」および「解説」でご確認ください。

事前準備（10分ほど）

- moshimosec.com/school を開き、「タイムマシンで授業をする」からルームを作る（ログインが必要。無料）
- ルーム名（例：3年A組 家庭基礎）、初期資金、対象銘柄を決める。対象銘柄は10～20社程度に絞ると、生徒が選びやすく読み込みも速い
- 「売買のたびに理由の入力を必須にする」をオンにする（振り返りと評価に使う）
- 生徒用ワークシートを人数分印刷する。一度、教師自身が生徒側の画面で売買を試しておくで安心

評価のしかた（例）

- 思考・判断・表現：教師用画面の「売買履歴（理由つき）」をCSVでダウンロードで、全員の売買と理由を一覧できる。理由がニュースや企業の情報に基づいているか、結果を振り返って判断を見直しているかを見る。
- 主体的に学習に取り組む態度：振り返りシートの記述（次に生かしたいこと、実際の資産形成で大切だと思うこと）。
- 成績（順位・利益率）は運にも左右されるため、評価には使わないことをおすすめします。

授業の展開

1コマ目 売買を体験する

時間	学習活動	指導上の留意点
導入 10分	「株を買う」とはどういうことか、株価はなぜ動くのかを考える。ワークシートQ1に自分の予想を書く。	株主になること、業績・ニュース・買いたい人と売りたい人のバランスで価格が決まることを簡単に押さえる。
参加 5分	投影されたQRコードを読み取り（または6桁のコードを入力し）、名前を入れてルームに参加する。	教師用画面の「大きく表示（プロジェクター用）」を使う。参加人数を画面で確認してから開始する。
体験 25分	教師が市場を1日ずつ進める。生徒は各時点のニュースと株価を見て売買し、理由を入力する。ワークシートの売買記録にも書き写す。	「授業を開始する」→「次へ」で全員の画面が同時に進む。3～5回進め、各回で「どのニュースに注目したか」を数人に聞く。ときどき参加者ランキングを投影する。
まとめ 10分	今の保有銘柄とその理由、次に起きそうなことを記入する。	勝ち負けではなく「なぜそう判断したか」を書くよう促す。次回まで売買はできない（教師が進めない限り時間が止まっている）。

2コマ目 振り返り、実際の資産形成につなげる

時間	学習活動	指導上の留意点
再開 5分	前回の保有株と理由をワークシートで確認する。	別の端末で入る生徒は、前回と同じ端末・ブラウザを使うよう伝える（ゲスト参加のため）。
体験 15分	残りの期間を進めながら売買する。	終盤は数日分まとめて進めてもよい。最後に「授業を終了する」を押す。
振り返り 20分	振り返り画面（大きく動いた銘柄と背景のニュース、最終ランキング、自分の売買と理由）を見て、班で話し合う。	画面の「話し合いのヒント」を活用： ・大きく動いた銘柄は、どのニュースの後に動いた？ ・上位と下位で、売買の理由にどんな違いがあった？ ・もう一度やるなら、どこで何をする？
一般化 10分	体験を実際の資産形成に結びつける。振り返りシートを書く。	1社に集中するとリスクが大きいこと（分散）、短期の値動きは予想が難しいこと（長期の視点）、株式・債券・投資信託の違い、NISAなどの制度に触れる。

アレンジ

- ・ **1コマで終える**：体験を20分にし、すぐに「授業を終了する」→振り返り15分。
- ・ **数週間の課題にする**：「クラスを作る」で、全プレイヤー共通のリアルタイム市場のまま、クラス内ランキングを競う（宿題・長期休み向け）。
- ・ **探究学習にする**：別紙「探究学習シート」で、問いを立てて検証する形にする。

※ 登場する企業とニュースはすべて架空です。実際のお金は使いません。短期売買を勧める教材ではないことを、生徒にも伝えてください。